

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等	
精神障害作業療法治療学		必修	2	2	後期	
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー		
池谷 政直	C311	ot_ikeya		木曜日 13:00~14:30		
授業の目的・概要	精神障害作業療法における基礎概念や理論、および作業療法の評価から治療に至るまでの実践課程について説明する。また、本邦の精神医療福祉の歴史と動向を学ぶことで、精神障害領域における作業療法の役割について理解を深めることを目的とする。各授業では学習内容に関連した事前学習課題を提示し、学生は教科書等を用いて調べた上で授業に参加することで能動的に学ぶ機会を提供する。また、授業で学んだことや調べたことをノートにまとめることで学習の振り返りを行う。					
学習上の助言	本科目は精神医学Ⅰ・Ⅱで学んだ精神疾患の知識が必要となるため、各疾患における病態や特徴について復習し理解しておくこと。					
教科書	標準作業療法学 精神機能作業療法学 第3版/編:新宮尚人/医学書院/2020					
参考書	標準理学療法学・作業療法学 精神医学 第4版/編:上野武治/医学書院/2015					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針		
①	本邦の精神保健福祉の歴史と現状について説明することができる			OT (1)、(2)		
②	精神障害作業療法における基礎概念や理論について説明することができる			OT (2)、(3)		
③	精神障害作業療法の構造と実践形態について説明することができる			OT (2)、(3)		
④	代表的な精神疾患の回復過程と、回復過程に応じた治療について説明することができる			OT (2)、(3)		
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	オリエンテーション 精神機能作業療法の基礎(精神機能作業療法の基本的視点)について学ぶ	講義	[事前学習] 教員が提示した事前学習課題に対して、教科書・資料を用いて調べ、授業ノートにまとめる [事後学習] 各回で学ぶ事項の他、疑問や調べたことをノートにまとめる。			
2	精神機能作業療法の基礎(精神保健医療福祉の動向と作業療法)について学ぶ	講義				4
3	精神機能作業療法の実践基盤(精神機能作業療法の理論・実践モデル、回復過程と作業療法)について学ぶ	講義				4
4	精神機能作業療法の実践基盤(地域生活における作業療法の視点)について学ぶ	講義				4
5	疾患別精神機能作業療法(統合失調症:亜急性期~回復期前期)について学ぶ	講義				4
6	疾患別精神機能作業療法(統合失調症:回復期前期~回復期後期)について学ぶ	講義				4
7	疾患別精神機能作業療法(気分障害:うつ病)について学ぶ	講義				4
8	疾患別精神機能作業療法(気分障害:躁病)について学ぶ	講義				4
9	疾患別精神機能作業療法(神経症性障害)について学ぶ	講義				4
10	疾患別精神機能作業療法(物質依存)について学ぶ	講義				4
11	疾患別精神機能作業療法(摂食障害)について学ぶ	講義				4
12	疾患別精神機能作業療法(パーソナリティ障害)について学ぶ	講義				4
13	状態別精神機能作業療法(認知機能障害、身体合併症における作業療法)について学ぶ	講義				4
14	場面別精神機能作業療法(退院支援、地域生活支援)について学ぶ	講義				4
15	場面別精神機能作業療法(就労支援、復職支援、司法精神医療における作業療法)について学ぶ	講義				4
試	定期試験					

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		85	0	0	0	15	100
総合 力 指 標	知識・技術力	85	0	0	0	0	85
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	5	5
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ教科書・配布資料・口頭での説明内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。試験は総合成績の85%に換算する。				試験結果については実施後にフィードバックをする。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業終了後、次の授業日までに授業ノートを作成し提出する。 授業ノートは以下の基準で採点する（総合成績の15%に換算） ・予習した内容がノートにまとめられている ・授業の内容がノートにまとめられている ・疑問や調べたことがノートにまとめられている				提出されたノートを教員が確認しフィードバックをする
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎池谷 政直</p> <p>授業ノートは該当ページをスキャンまたはカメラで撮影し、各回の指定された期日までに Microsoft Teams（課題）を通して提出すること。</p> <p>本科目は面接授業を実施するため、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によっては再度シラバスを変更する可能性がある。</p> <p>教員の実務経験： 本科目を担当する教員は精神障害領域において10年以上の実務経験を有している。</p> <p>実践的授業の内容： テキストと併せて疾患や患者像について視覚教材を用いることで学生の理解に繋げる。また臨床における治療で得た知見に基づき講義を展開する。</p>							